



証券のための金融、証券による金融

平成18年9月期 第93期)

中間事業報告書

平成18年4月1日～平成18年9月30日

大証金



▲ 会社のプロフィール

〔役割〕 証券取引法の免許会社で制度金融（貸借取引）の担い手

証券関連融資や証券貸借を通して証券市場の機能発揮をバックアップ

〔概要〕 東京（第1部）、大阪（第1部）の各証券取引所に上場

資本金35億円、純資産267億円で、自己資本比率は高水準

役員職員全体で90名強の少数精鋭

〔実績〕 経常利益は、創立以来50年余黒字を継続

配当金は、年6円以上を継続

格付けは上位
発行体格付けは シングルAマイナス A-1〔R&I（格付投資情報センター）〕
短期格付けも エイワン a-1〔R&I〕
ジェイワン J-1〔JCR（日本格付研究所）〕

（平成18年9月末現在、単体ベース）

株主のみなさまへ

私達の誓い

一、大証金は「証券のための金融、証券による金融」を担い証券市場の発展を目指します。

一、私達の合言葉は「ニーズ! スピード! チャレンジ!」お客様のニーズにスピーディにチャレンジします。

一、大証金は大阪を基盤に全国に展開します。



取締役社長
大津 隆文

▲ 連結中間決算報告

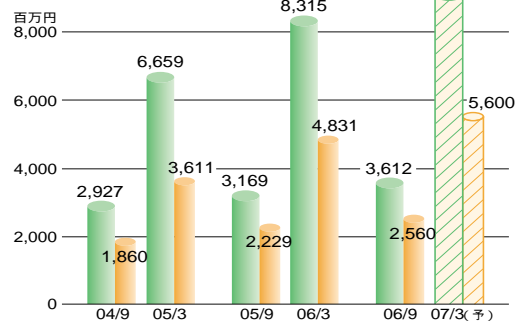
営業収益は増収を確保、
経常利益、純利益（実勢値）はともに減益

【営業収益】36億円（前年同期31億円）
当社およびODKソリューションズ（子会社）が増収

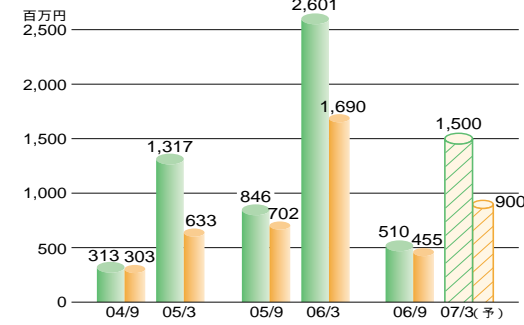
【経常利益】510百万円（前年同期846百万円）
ODKソリューションズは黒字転換したものの
当社およびたいこう証券ビジネス（関連会社）の不振から減益

【純利益】346百万円（前年同期 801百万円）
前年同期の関係会社株式売却損解消で大幅増益
上記特殊要因を除いた実勢値（685百万円）に比べると50%減益

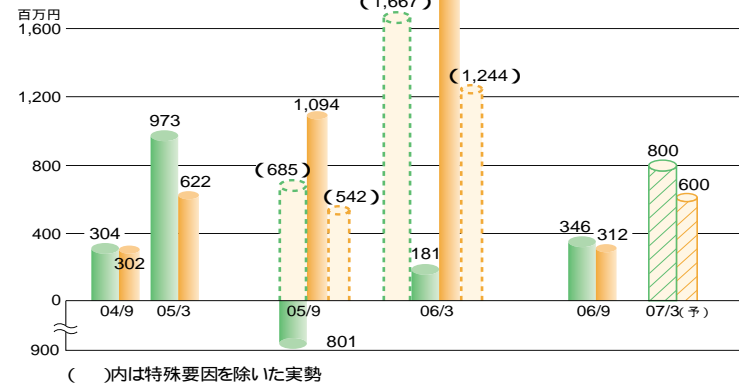
営業収益



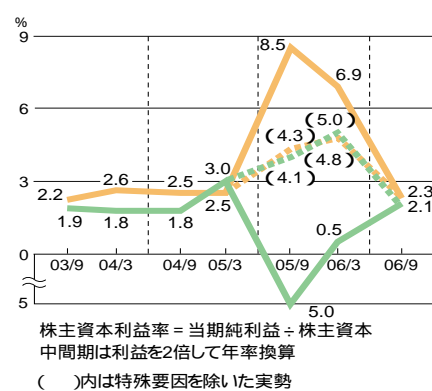
経常利益



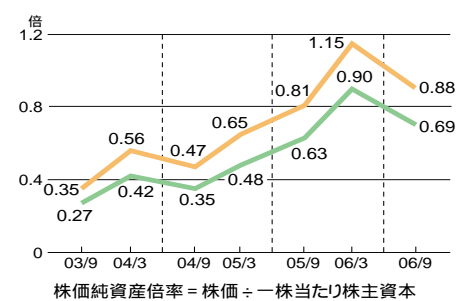
当期純利益



株主資本利益率(ROE)

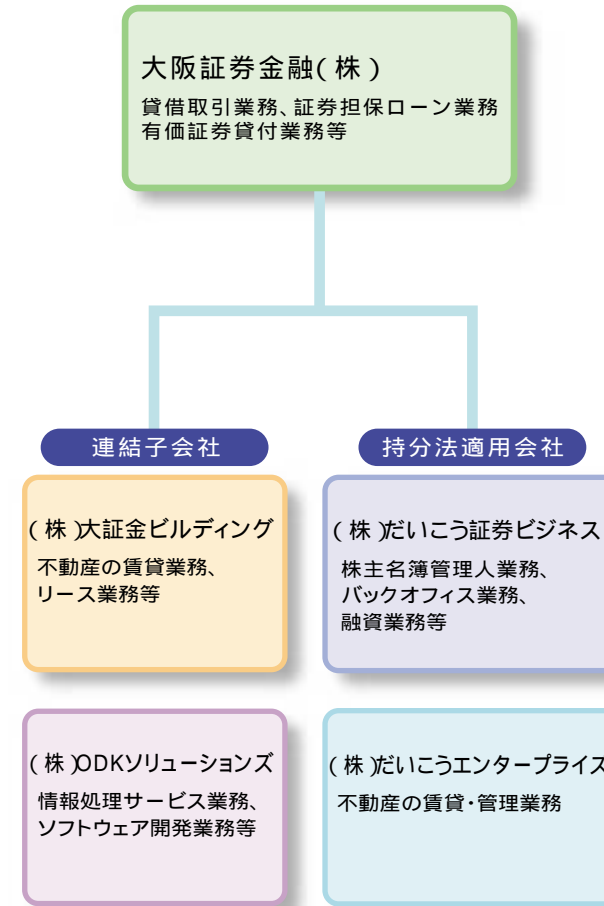


株価純資産倍率(PBR)



企業集団の状況

当社の企業グループは下図のとおりであります。



平成18年9月3日付で商号
を大阪電子計算(株)から
変更しました。

連結損益計算書

科目	損益計算書	
	当中間期	前年同期
営業収益	3,612	3,169
貸付金利息	1,916	1,649
有価証券貸付料	445	407
業務受託収入	852	666
その他の営業収益	398	446
営業費用	1,887	1,325
支払利息	430	95
有価証券借入料	269	229
支払手数料	403	299
その他の営業費用	784	700
販売費および一般管理費	1,307	1,225
営業利益	417	618
営業外収益	95	238
受取利息および配当金	10	37
持分法による投資利益	64	196
その他の営業外収益	21	4
営業外費用	2	10
経常利益	510	846
特別利益	17	12
貸倒引当金戻入	14	12
固定資産売却益	3	
特別損失	7	1,100
関係会社株式売却損		1,100
固定資産除却損	7	
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失()	520	241
法人税、住民税および事業税	75	492
法人税等調整額	83	99
少数株主損失又は少数株主利益()	15	31
中間純利益又は中間純損失()	346	801

個別中間決算報告

連結貸借対照表

資産の部	当中間期末	前期末
科目	百万円	
流動資産	582,513	791,208
現金・預金	12,054	15,769
売掛金	258	704
有価証券	31,675	29,291
貸付金	201,318	317,098
借入有価証券代り金	332,012	423,139
その他の流動資産	5,237	5,254
貸倒引当金	42	50
固定資産	34,410	32,882
有形固定資産	1,050	1,081
無形固定資産	1,112	1,155
投資その他の資産	32,247	30,645
投資有価証券	31,675	30,073
その他の投資	661	660
貸倒引当金	89	88
資産合計	616,924	824,091

負債の部	当中間期末	前期末
科目	百万円	
流動負債	576,638	782,361
コールマネー	177,500	229,800
売渡手形		82,500
短期借入金	321,050	327,678
コマースナル・ペーパー	26,000	43,500
貸付有価証券代り金	45,095	88,588
その他の流動負債	6,993	10,295
固定負債	6,694	7,467
長期借入金	4,400	4,900
退職給付引当金	933	925
役員退職慰労引当金	510	590
その他の固定負債	850	1,051
負債合計	583,332	789,829
純資産の部		
株主資本	32,260	31,429
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,731	1,731
利益剰余金	27,628	26,798
自己株式	599	600
評価・換算差額等	798	2,314
少数株主持分	532	517
純資産合計	33,591	34,261
負債・純資産合計	616,924	824,091

中間連結株主資本等変動計算書

当中間連結会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資金剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	評価・換算 差額等合計		
平成18年3月31日残高	3,500	1,731	26,798	600	31,429	2,314		2,314	517	34,261
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			531		531					531
利益処分による役員賞与			69		69					69
中間純利益			346		346					346
自己株式の処分		0		0	0					0
自己株式の取得				0	0					0
持分法適用会社が所有する 自己株式の減少				2	2					2
評価・換算差額等への振替			1,083		1,083					1,083
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)						432	1,083	1,515	14	1,501
中間連結会計期間中の変動額合計		0	829	1	830	432	1,083	1,515	14	670
平成18年9月30日残高	3,500	1,731	27,628	599	32,260	1,882	1,083	798	532	33,591

資金運用残高は減少したものの、営業収益は増収
経常利益、純利益(実勢値)は経費増により減益

【営業収益】25億円(前年同期22億円)

ゼロ金利解除による運用利回りの上昇が寄与

【経常利益】455百万円(前年同期702百万円)

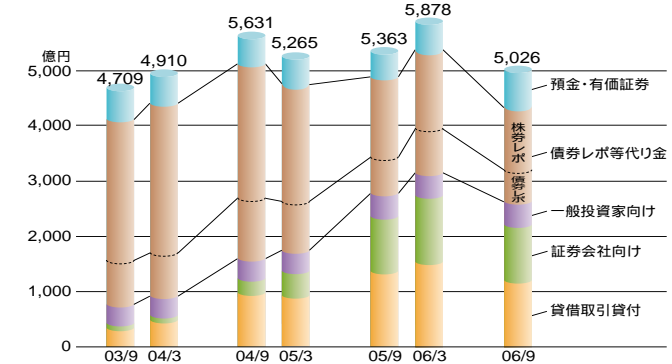
貸借取引貸付金残高の減少、システム関連費用の増加等から減益

【純利益】312百万円(前年同期1,094百万円)

前年同期の関係会社株式売却益解消で大幅減益

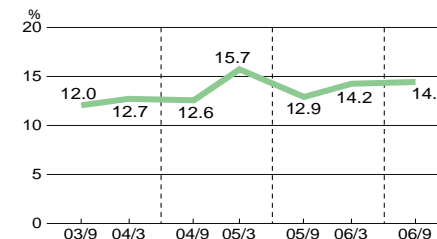
上記特殊要因を除いた実勢値(542百万円)に比べても40%減益

資金運用の内訳(平均残高)

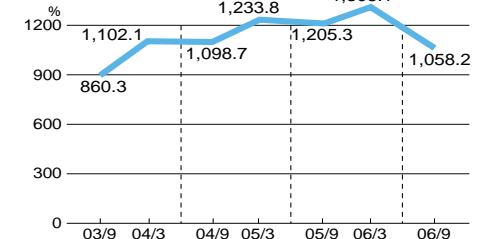


自己資本比率

(1) 銀行ベース BIS基準



(2) 証券会社ベース 証券取引法基準



期中トピックス

ローン媒介に関する業務提携

主として企業オーナー向けの『ビジネスローン』事業の拡大・強化に向けて、日興コーディアル証券との間で顧客紹介のためのローン媒介の業務提携実施。

「企業行動憲章」の制定

取締役等の適正な業務執行を確保するため会社上義務付けられた「内部統制システム整備」の一環として、役職員の行動規範となる『企業行動憲章』を制定。社会的責任への取組みに関する基本姿勢を明確化。

企業行動憲章の項目

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 社会的使命の実践 | 5. 「やる気に応える職場」の提供 |
| 2. 誠実かつ公正な企業活動の遂行 | 6. 環境保護への取組み |
| 3. 積極的な情報開示 | 7. 社会貢献活動の推進 |
| 4. 質の高いサービスの提供 | 8. 反社会的勢力との対決 |

今後の取組み

環境変化への対応

証券・金融市場においては、「貯蓄から投資へ」の流れが一段と鮮明になってくるなど当社を取り巻く環境変化は引続き大きいものがありますが、こうした中、当社役職員の行動指針であります『ニーズ!スピード!チャレンジ!』の実践に徹底し、業界初のネット取引『コムストックローン』の全国展開や企業オーナー等向け『ビジネスローン』の首都圏を中心とした営業活動のなお一層の強化・拡充、さらには全国上場銘柄を対象とする『信用サポートローン』の提携先証券会社の拡大など、市場のさまざまなニーズに迅速かつ積極的に対応。

コーポレートガバナンスの確保

経営の透明性確保の観点から、引続き企業情報のタイムリーディスクロージャーを推進。また業務に内在するあらゆるリスクやコンプライアンスに関する事項の全社一元的な管理態勢のなお一層の強化・拡充を図るなど、今後とも「内部統制システム」の整備を通じて、責任ある経営体制の構築と経営全般にわたる健全性確保に努めてまいります。

個別損益計算書

損益計算書	当中間期	前年同期
科目	百万円	
営業収益	2,560	2,229
貸付金利息	1,916	1,649
有価証券貸付料	445	407
その他の営業収益	198	173
営業費用	951	493
支払利息	430	95
有価証券借入料	269	229
その他の営業費用	251	167
一般管理費	1,256	1,138
営業利益	353	597
営業外収益	101	114
受取利息および配当金	82	99
その他の営業外収益	19	15
営業外費用	0	9
経常利益	455	702
特別利益	14	950
関係会社株式売却益		937
固定資産売却益	3	
貸倒引当金戻入	11	12
特別損失	6	
固定資産除却損	6	
税引前中間純利益	463	1,653
法人税、住民税および事業税	74	492
法人税等調整額	75	66
中間純利益	312	1,094

個別貸借対照表

資産の部	当中間期末	前期末
科目	百万円	
流動資産	580,906	789,205
現金・預金	11,379	14,682
有価証券	31,575	29,291
貸付金	201,316	317,093
借入有価証券代り金	332,012	423,139
その他の流動資産	4,662	5,043
貸倒引当金	41	46
固定資産	27,932	26,273
有形固定資産	340	302
建物	63	67
土地	31	33
その他の有形固定資産	245	201
無形固定資産	857	848
ソフトウェア	854	845
その他の無形固定資産	3	3
投資その他の資産	26,735	25,122
投資有価証券	26,148	24,424
その他の投資	675	786
貸倒引当金	89	88
資産合計	608,839	815,479

負債の部	当中間期末	前期末
科目	百万円	
流動負債	576,200	781,488
コールマネー	177,500	229,800
売渡手形		82,500
短期借入金	321,050	327,678
コマースナル・ペーパー	26,000	43,500
貸付有価証券代り金	45,095	88,588
その他の流動負債	6,555	9,421
固定負債	5,919	6,671
長期借入金	4,400	4,900
退職給付引当金	372	403
役員退職慰労引当金	390	409
その他の固定負債	756	959
負債合計	582,120	788,160
純資産の部		
株主資本	25,070	25,359
資本金	3,500	3,500
資本剰余金	1,731	1,731
利益剰余金	19,978	20,267
自己株式	139	138
評価・換算差額等	1,648	1,959
純資産合計	26,718	27,319
負債・純資産合計	608,839	815,479

中間株主資本等変動計算書

当中間会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年9月30日)	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
平成18年3月31日残高	3,500	1,731	20,267	138	25,359	1,959	1,959	27,319
中間会計期間中の変動額								
剰余金の配当			532		532			532
利益処分による役員賞与			69		69			69
配当準備積立金の積立								
別途積立金の積立								
中間純利益			312		312			312
自己株式の取得				0	0			0
自己株式の処分				0	0			0
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額(純額)						311	311	311
中間会計期間中の変動額合計			288	0	289	311	311	600
平成18年9月30日残高	3,500	1,731	19,978	139	25,070	1,648	1,648	26,718

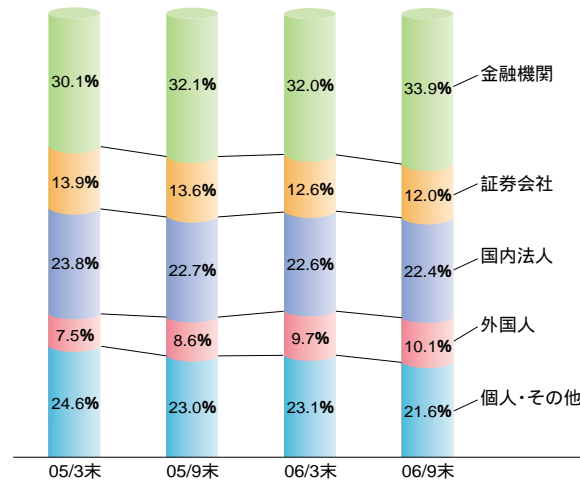
株式について

株式の状況

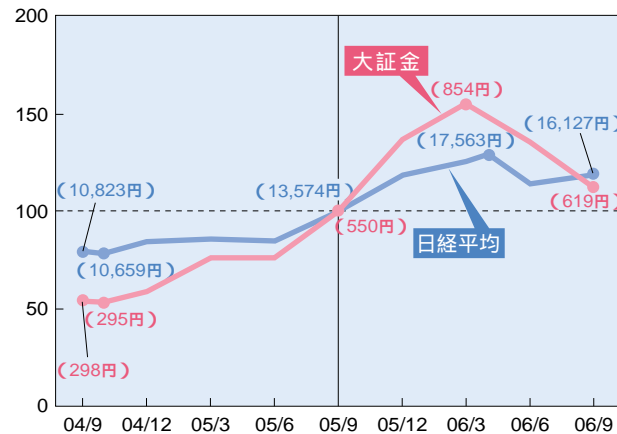
- 1. 会社が発行する株式の総数..... 9 450万株
- 2. 発行済株式の総数..... 3 850万株
- 3. 株主数..... 4 419名
- 4. 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
株式会社だいこう証券ビジネス	429.9万株	11.1%
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	256.3	6.6
株式会社大阪証券取引所	229.3	5.9
野村ホールディングス株式会社	200.0	5.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	175.9	4.5
株式会社みずほコーポレート銀行	166.6	4.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	166.6	4.3
株式会社りそな銀行	166.6	4.3
株式会社三井住友銀行	166.5	4.3
財団法人資本市場振興財団	84.3	2.1

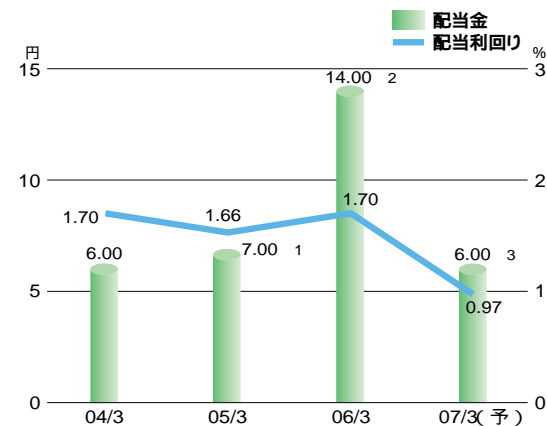
株式の所有者別分布



株価推移(2005年9月末=100、株価は終値ベース)



配当金及び配当利回り推移



配当利回りは期末株価で算出。
 但し、2007年3月(予)は2006年9月末株価で算出。
 1. 55周年記念配当1円を含む
 2. 特別配当8円を含む
 3. 中間配当3円を含む

会社概要

設立 / 昭和8年9月18日
 資本金 / 35億円
 代表者 / 取締役社長 大津隆文
 従業員数 / 83名(派遣社員を含む)
 株式上市 / 東京証券取引所市場第1部
 大阪証券取引所市場第1部

取締役および監査役 (平成18年9月30日現在)

取締役社長	大津隆文
専務取締役	鈴木茂
常務取締役	中川淳一
常務取締役	岡田耕治
取締役	久場直美
取締役	西山剛
取締役(株式会社大阪証券取引所取締役社長)	米田道生
取締役(光証券株式会社取締役会長)	森中蕃
取締役	神崎健一
取締役	栗山勁
取締役	加藤巖
常勤監査役	伊藤俊示
監査役	吉富啓祐
監査役	土田進

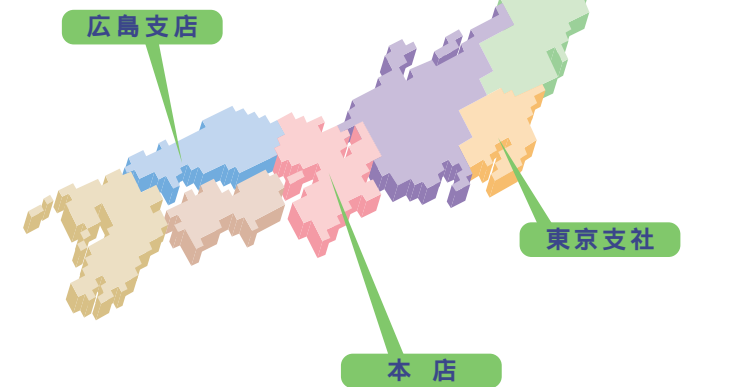
(注) は代表取締役であります。

事業所

本店 / 〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
 TEL06-6233-4510 FAX06-6233-4514
 東京支社 / 〒103-0027 東京都中央区日本橋二丁目15番3号
 TEL03-5299-6311 FAX03-5299-6317
 広島支店 / 〒730-0031 広島市中区紙屋町一丁目3番2号
 TEL082-241-8131 FAX082-247-5758
 (平成18年12月30日(土)をもちまして廃止し、本店に業務を継承予定)



東京支社



本店社屋

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会・期末配当金.....3月31日 中間配当金.....9月30日 そのほか、必要ある場合は、あらかじめ公告 して臨時に基準日を定めることがあります。
株主名簿管理人 同事務取扱場所	株式会社だいこう証券ビジネス 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部 電話 0120-255-100
同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス 全国各支社
公告掲載	電子公告により当社ホームページ (http://www.osf.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告によることのできない場合は、産業経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京、大阪
証券コード	8512

ニーズ!スピード!チャレンジ!



株主優待のご案内

毎年3月31日現在の株主(実質株主を含む)様に対し、次のとおり贈呈いたします。

[優待内容]

100株以上500株未満保有の株主様...「クオカード」1,000円券1枚
500株以上1,000株未満保有の株主様
「ふるさと小包ギフトカード(日本郵政公社発行)」2,000円相当1枚
1,000株以上保有の株主様.....「同」3,000円相当1枚



大阪証券金融株式会社

〒541-0041 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
TEL06-6233-4510 FAX06-6233-4514

URL <http://www.osf.co.jp/>



A660046(01)